

賀正

加藤 丈夫
營業所平町白銀町電話三二一五番

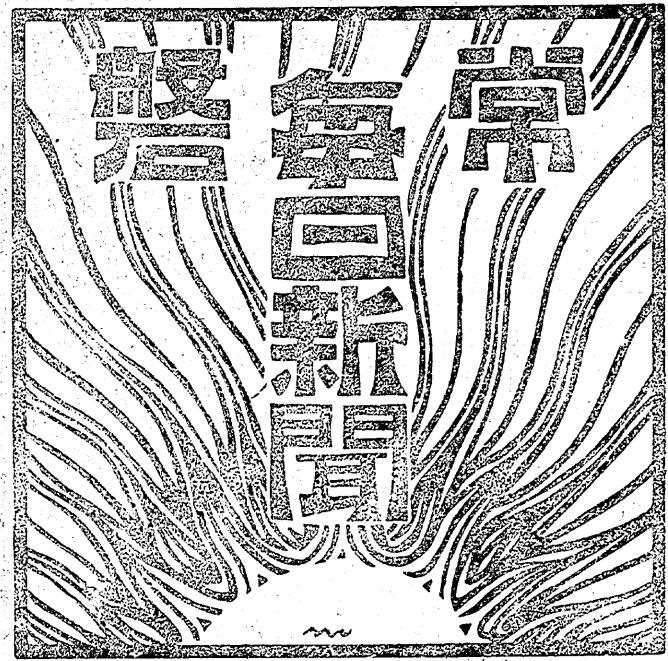
鶴仙 松吉屋本店
石城郡平窪村電話二四一

綠川 喜三郎
平町才樋小路

永山 和平
平町久保町
電話二〇七番

中野 昌服店
電話六十七番

定部金貳錢 廣五號十二休
一ヶ月廿錢 告字詰一行 日
郵稅五厘 料五十錢 日
發行所 福島縣石城郡平町長橋町三五番
電話六三〇番



發行編輯人 川崎 文治
本社同番地 (電話六三〇番)
印刷所 常盤毎日印刷所

號刷初日一月一

同心協力を契ふ

社長 川崎 文治

上皇室の御繁榮と下萬民の靜安裡に輝かしい大正十五年を迎ふるを得た事は無上の喜びであらねばならぬ。然れ共吾人は徒らに新春の喜びに酔ひ無意義な新年を迎ふるに忍びないものがある、即ち方今社會の状態は甚だしく緊張味を欠き浮華輕佻の習ひが日に増し長ずるの嫌ひある事は邦家の爲め誠に痛心の極みである、此弊を矯めんに吾人の同心協力此事の廓正に努めねばならぬを痛切に考へるものである、本紙甚だ微力也と雖もよく一管の筆を提げて地方文化の向上に努力し誠心誠意社會の公器として其責務を果さん事を冀ひ來つたのも一に此根本目的を達せんが爲めである、此意味に於て報導の敏速正確を期し堅實な基礎の上に讀者諸彦の期待に反せざらん事を欲し日夜苦難と健闘し以つて此新春を迎ふに至つたに就いては、いさゝか自負するに足るべき點あるを信じて疑はないのである、然れ共吾人の目的とする彼岸に到達すべき前途は未だ遠遠一つに諸彦の熱誠なる御聲援に俟つ點甚だ多い、故に是非協力一致本紙の使命を鞭達されん事を此年頭に當り切に望んで已まざる次第である

謹賀新年

謹賀新年
福島縣平町

鹽屋山崎合名會社
電話長一〇番
電話長二七番

吉例により一月一日
休業仕候

石城郡選出縣會議員

- (順ハロイ)
- 井上 茂作 (平町)
 - 小野 晋平 (小名濱町)
 - 大平 睦四郎 (勿來町)
 - 草野 順平 (平町)
 - 古川 傳一 (植田町)
 - 木村 清治 (大浦村)

和洋銅鐵
金物問屋
釜屋商店

諸橋 久太郎
諸橋 守治
電話九番、二三九番

石城郡内郷村

磐城炭礦株式會社
鑛業部

高橋 龜松
平町白銀町

關内 油店
平町二丁目
電話一六番

炭屋 旅館
平町紺屋町
電話一四八番

平町會議員一同

福島縣石城郡平町五丁目
東部電力株式會社平營業所
所長 武田 精一

久野キク
平町三丁目

四倉電氣株式會社

日本生命保險株式會社
日本火災保險株式會社

平代理店主 中野 甲藏
電一一番

千葉 彦治
平町田町
電話三六五番

大嶺 庫
平町搔樋小路
電話五六三番

若松市大町通

平(通)石炭部出張所

太平火災保險株式會社平代理店

森 本 盛一

帝キネ 直營
有聲座

子供と一緒に

正月を楽しめ

そのいろいろの仕事

磐城高等女学校長 櫻井賢文氏談

さ、お正月休みに子供を中石遊びでも又家中で出来る心として家庭的に楽しむ事將棋のやうなものでもないそれは一等お客が長座をしこたつを真中にしてない事ですね。いづれ春永に伺つてゆつくりお目にかけるとは、よく普通に知合同士の間には交はされる言葉ですけれども、お正月は

大人への休みであるよりは子供のために一層つたりして居る物を見せる楽しみられる日なのですからお客はなるべく遠慮して子供の楽しみを妨げないやうにしたいと思ひます。お客のある時に子供達がよくぞきに来る。さういふ時は子供達が

父親を欲しい時なのです。さうしてた父さんが一日のプログラムを作つて子供達と約束などしてゐる時にお客に妨げられて望み通りにならない時

子供等失望はどれ程だかわからないのです。それでお父さんの方はどうするかと言へば、もし子供を何處かにつれて行くといふならば、お父さんにつれて行くのでなく、子供につれて行くのでなく、子供に

指圖をされてお父さんが遊びをするといふやうにするのです。遊びはか

たでもすくなく、お父さん

の紙に書くのです。中には

自作の歌もあり色紙がい

新年の幾夜かに出来ると

平町の旺盛振りを

證據立てる数字

虎の子はちよいと遊ぶが

賀正

木村清治

鈴木辰三郎

金成通

磐城病院

郷土社

扇屋旅館

遠藤帽子店

大平屋薬舗

玉川屋酒店

高久忠

飯田一二

會田時計店

何でもかまはない一つ書に使ふ紙は普通の半紙で
の紙に書くのです。中には、私は銀の
▽……自作の歌もあり色紙がい
ませうし、經書聖書の中かひます。上品ではあるし、
ら良い句を引く事もありませう。上品ではあるし、
せう。又其時に特に心に感にもかひがあります。お正
じてゐる句などもありませう。月のお祝ひにまたは贈り物
う。それらを書き合つて、に銀の色紙二三枚を買つて
それから出て来る書き合つて、それこそこたつを圍んで
いろ／＼の語には
▽……新年の幾夜かに出来ると
わたつて花もさくでせう。
それが子供の心にいゝ種となつてまかれる事もあり、
なつてまかれる事もあり、前のと比べて見て、その變
じつかりと根づく事もありつて来たあとを見る事も出
ませうと思ひます。この雜

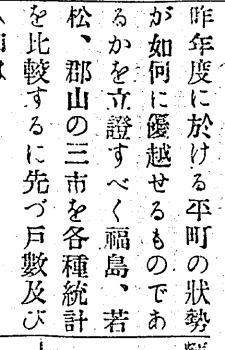
平町の旺盛振りを證據立てる数字
昨年度に於ける平町の状態、昨年度に於ける平町の状態、
が如何に優越せるものであるかを示すべく、福島、若
松、郡山の三市を各種統計を比較するに先づ戸數及び
人口は
區別 戸數 人口
福島市 七、四四九 四一、三三九
若松市 七、五一一 四五、四〇二
郡山市 七、九六四 四二、八七七
平町 四、六二〇 二五、一四七
であつて此點は割合に平町が劣つて居るに拘らず人率の往來繁しき點は縣下第一である、即ち驛の乗降客を見るに
區別 乗客 降客
福島市 七、〇五五 七、九七六
若松市 五、九七三 五二、八五五
郡山市 七、三、九五四 七、八、七三三
平町 一、〇七、〇七一、〇五、九六五
どの異常なる旺盛振りを發

年賀便冊萬
前年より激増
平町 四、二、三、二五〇
郡山市 三、三、九、三三〇
若松市 三、九、三、三〇〇
一九、二〇、二〇〇

賀正
社 長 川崎文治
印刷部 鈴木實
營業部 高木喬
外従業員一同
常磐毎日新聞社
平町田町電話一四四番

木村清治
平銀行常任監事
諸機械店
田邊商店
平白銀町
電話二六七

佐藤喜内
葉子店
平白銀町



虎の子はちよいと遊ぶが

賀正

木村清治

鈴木辰三郎

金成通

磐城病院

郷土社

扇屋旅館

遠藤帽子店

大平屋薬舗

玉川屋酒店

高久忠

飯田一二

會田時計店

常磐線平驛前
平驛公認運送組合
事務所電話二二七番

坂田金物店
平町二丁目
電話一八八番

關内精米所
平長橋町電話一六〇(呼)
和洋銅鐵
度量衡

石島徳長
平白銀町
電話六五〇

乾書店
平才穂小路
電話三一五

金光堂時計店
平町五丁目

石川平之助
平支店主任
シムガミシン會社

植田水力電氣株式會社

鈴木辰三郎
磐城實業銀行事務

日本のは虎は異國で鬼といひ
虎の位を五種香うりも一寸かり
七夕に虎の出さうな長つぼね
不用なもの虎のくび猿の洞

虎の川柳
虎の子はちよいと遊ぶが四五十里
虎のなき聲をきかれて儒者困り
虎の威は朝鮮の子の虫をさへ

賀正
社 長 川崎文治
印刷部 鈴木實
營業部 高木喬
外従業員一同
常磐毎日新聞社
平町田町電話一四四番

木村清治
平銀行常任監事
諸機械店
田邊商店
平白銀町
電話二六七

佐藤喜内
葉子店
平白銀町

關内精米所
平長橋町電話一六〇(呼)
和洋銅鐵
度量衡

正賀

元代議士高岡唯一郎

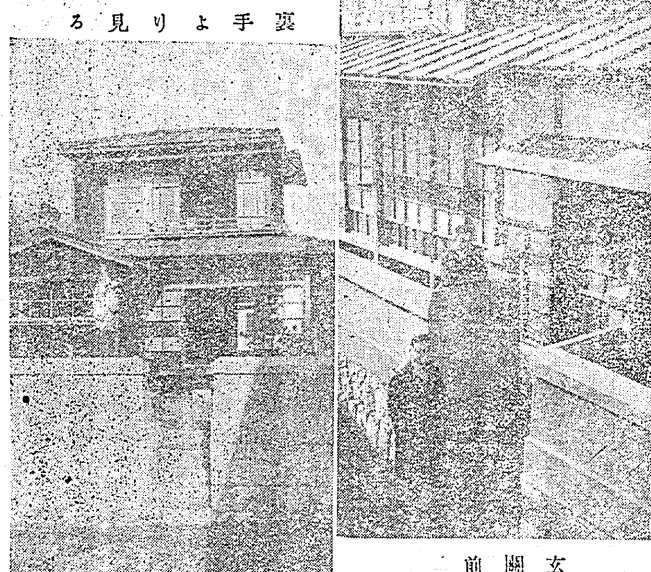
福島縣農工銀行
頭取 白井博之

磐城銀行事務
草野順平

なかや洋服店
平町二丁目電話二〇三番

高久忠

飯田一二
會田時計店
平町四丁目



分設の分
依に計設の分
依に計設の分
依に計設の分

川崎文治
電話三六〇番

玉川屋酒店
電話六五番

正賀

元代議士高岡唯一郎

國民のてげ舉 は日杯祝

◇新暦で元旦を祝賀する風習は一般的になつて来たが未だ地方に依りては舊暦の所がある、この習慣は假へば普通が實施されてもいつ迄も續くだらう

◇これは新舊思想の衝突を表はすものでも、都會と農村との文明程度を見てもでもない、一は經濟關係と云ふ嚴かなる事實を事實として國民相互の間に歡喜祝杯を徹せしむる深き一日あることを求めたい。

◇官制學校を休み商店が休業の札をブラ下げる丈けは假へ勅任官以上が拜賀御慶宴に列しても同となく天長節の祝賀が善々に徹せない氣がする、家庭で心靜かに祝ふ人もあるかも知れないが、時は秋の前にして觸るるもの皆歌はんとして居るではないか、『新年宴』の因循妨息なチビ酒な物の見事に吹きたバスに足る酒の香芳醇な時ではないか

◇新時代は傳説や迷信に囚へられたくない。飽くまで現實に即して形式と内容を打つて一丸とし御誕生と云ふ嚴かなる事實を事實として國民相互の間に歡喜祝杯を徹せしむる深き一日あることを求めたい。

◇新時代は傳説や迷信に囚へられたくない。飽くまで現實に即して形式と内容を打つて一丸とし御誕生と云ふ嚴かなる事實を事實として國民相互の間に歡喜祝杯を徹せしむる深き一日あることを求めたい。

福島縣農工銀行
頭取 白井博之

磐城銀行專務
草野順平

なかや洋服店
平町二丁目電話二〇三番

高久忠

飯田一二
會田時計店
平町四丁目

謹賀新年

磐城銀行專務

白井一郎

門傳清吾
平町才地小路

酒井喜代正
平町才地小路

山崎吉平
伊藤淺之助
石城郡飯野村

院病濟共城警
(内科・小兒科)
助川喜四郎
藤岸秀吉
山岸潤家
大瀧潤家
押川公介

(外科)
小池健造
河合平吉
近藤潤平
藤口清治
吉本孝平
警城共濟病院
賀澤忠治

縣社子鉄倉神社
山部正宣

淺井喬一
平町鍛冶町電話一二二番

平町長橋町三五
川崎文庫
電話六三〇番

磐城セメ
會社工業所
四倉町 電話一三三番

百澤商店
平四丁目電話一二番

平材商組合

公設市場
食部

河西八十治
福島縣農工銀行平支店

諸橋吳服店
平新川町電話五〇番

高野得助
平驛前電話三三六番

和洋藥器店
三幸堂
平町二丁目

三幸堂

和久井屋
平二丁目電話四〇五番

柏屋染物店
阿部傳六
平材木町

平藝妓屋組合

三幸堂

仙臺屋吳服店
平二丁目電話二二七番

中川材木店
平大工町電話五五六番

平藝妓屋組合

三幸堂

吉村製綿店
平研町電話二五七番

小野園次郎
平町長橋町電話二五一番

坂本紙店
平二丁目電話四十八番

根本品藏
平月見町

勇屋履物店
齊藤陽介
平町四丁目

滑川敏之助
平新田町電話七〇三番

赤心堂醫院
平町電話四七五番

福島縣 木炭同業組合
事務所平町南町電六六四番

松本徳一
平窪村

磐城工商會
平四丁目電一一八番

大塚亭
平町白銀町

平理髮業組合一同

石井兼藏
平町三丁目電話四二九番

山木屋旅館
平三丁目電話二八番

看板店
大音堂
平四丁目

常陸セメント海岸線特約店
住吉屋分店電話六六一番
酒井喜七

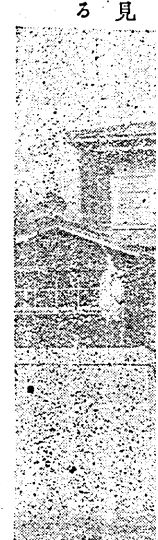
仲里文平
平町田町

佐藤武雄
平町郡役所前

小野常治
平四丁目電話一四四番

鈴木盛之助
平町田町

さんが遊びをするといふやこれは別に清書といふ形式にするのです。遊びはか張つたものでなく、難書でなすでもすくなく、恭す。父親母親をはじめめいどの異常なる旺盛振りを發



新つす
玉川屋酒店
平紺屋町
電話六五番
常盤線平驛前
平驛公認運送組合
事務所電話二二三七番

謹賀新年

石城銀行組合

磐城銀行 平町三丁目 電話三三三番、一五四番	平越銀行 平町二丁目 電話三〇三番	磐城實業銀行 平町南町 電話二〇五番	七十七銀行 平町四丁目 電話一四四番	農工銀行 平町二丁目 電話四一四番	第七銀行 平町四丁目 電話三六八番	磐城東倉銀行 平町四丁目 電話三二八番	四倉銀行 植田町 電話四七番	常磐銀行 植田町 電話六五番
---------------------------	----------------------	-----------------------	-----------------------	----------------------	----------------------	------------------------	-------------------	-------------------

酒井醫院 平町南五番	大森醫院 平町南五番	矢吹醫院 平町南五番	鈴木醫院 平町南五番	吉田醫院 平町南五番	星田醫院 平町南五番	根木醫院 平町南五番	松村醫院 平町南五番	合津醫院 平町南五番	大金醫院 平町南五番	大和醫院 平町南五番	藤沼醫院 平町南五番
---------------	---------------	---------------	---------------	---------------	---------------	---------------	---------------	---------------	---------------	---------------	---------------

賀正 加藤丈夫

營業所平町白銀町電話三二一、二五五番

森永會社代理店 マツモトヤ 平町四丁目電話二二四番	銃砲具 主渡邊貫一 平町二丁目 電話一〇九	磐城建物株式會社 平町五丁目電話五五八番	原齒科醫院 原精 平町土橋 電話三一三番	平料理屋組合	楠田榮太郎 木材石油鐵油各種油販賣 平町木町 電話二四八番	平、西洋料理業組合	大一屋荒物店 豐表和洋紙砂糖銘茶洋菓子商 平町二丁目 電話一三三番	關內彦太郎 清光堂本店 平町二丁目電話一三三番	吉田屋吳服店 平町鍛冶町電話二二二番
---------------------------------	-----------------------------	-------------------------	----------------------------	--------	-------------------------------------	-----------	---	-------------------------------	-----------------------

住吉屋支店 館 磐城平停車場前長電話一四九番	芹澤自動車部 主 芹澤正忠 平南町 電話四七番	大村屋旅館 平町二丁目 電話一七五番	平電氣企業社 平町田町 電話四二八番	松屋菓子店 平町長橋町 電話五一二番	尼子亭 松ヶ岡公園電話二三〇番	井上茂作 井上貞次郎 平町五丁目 電話五一八番	三井吳服店 平町三丁目 電話三八番	丸新館 平町前 電話長三二番	多田井質店 平町大工町
---------------------------	-------------------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	--------------------	-------------------------------	----------------------	-------------------	----------------

丸ほん家具店 平町參丁目電話三五九番	伊勢屋商店 平町四丁目電話四五番	青木寫真館 平町南町電話二三番	濱松屋 主 古川チヤウ 平町月見町電話六七〇番	關內藥舖 平町四丁目電話四〇番	履物三井商店 平町二丁目電話一五六番	田卷香油店 平町二丁目電話四一五番	時計洋品商 大谷時計店 平町三丁目電話長一九番	御料理 玉よし 平南町川岸通 電話四二六番	内外材木並に製板 大谷石黒砂石貸家 色川勝三郎商店 海岸線平町前電話三四一、二番	御料理 越の家 平町二丁目裏川岸通 電話三三〇番	平看護婦會長 清野キヨ 平南町電話三〇七番	和洋菓子問屋 高岡屋商店 平町電話四〇六番	境屋 久野柳助 平町一丁目電話一五〇番	水戸屋旅館 平町白銀町電話三五六番	草野七五三之助 平町鎌田町電話三四八番
-----------------------	---------------------	--------------------	-------------------------------	--------------------	-----------------------	----------------------	-------------------------------	-----------------------------	---	-----------------------------------	-----------------------------	-----------------------------	---------------------------	----------------------	------------------------

謹賀新年

石城郡内郷村

綠川喜三郎
平町才樋小路

永山和平
平町久保町
電話二〇七番

合名會社

中野吳服店

電話六十七番

久野キク

定一部金貳錢
廣五號十二
告字請一行
料五十錢
日刊
日曜大發
福島縣石城郡平町長橋町三五
發行所 常盤每日新聞社
電話六三〇番